

長野県社保協ニュース <19-2>

2014年5月29日(木) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

医療難民・介護難民の増大もたらす医療介護総合法案は廃案せよ！ 参議院での徹底審議・廃案めざし

5.28 議員要請行動・院内集會に10名参加



行き場のない患者・利用者を大量に生み出す恐れがある医療介護総合法案は、6月2日から参議院での審議が始まります。同法案は、衆議院でわずかな審議時間にもかかわらず、全野党の反対を押し切り自公の与党が採決を強行しました。参議院では、官僚の事務的ミスによって審議日程がずれ込み6月2日(月)本会議での「趣旨説明」、火曜・木曜の定例日の委員会で審議がされる予定です。

こうした緊迫した国会情勢を受けて実施された5月28日の国会行動・議員要請行動には、

長野県からは民医連4名、医労連5名、社保協1名の10名が参加しました。午前中、二手に分かれ、長野県選出の5名の参議院議員への要請行動を行いました。訪問した議員事務所の対応は全員秘書でしたが、「割りとき話をよく聞いてくれた」(民医連職員)との感想でした。



昼休みの時間帯は、議員会館前で開かれた中央3団体主催の昼休み集會に参加。午後は、1時半から開催された「医療介護総合法案廃止めざす、緊急院内集會」に参加しました。緊急院内集會では、小池あきら日本共産党参議院議員から国会情勢を兼ねた激励の挨拶をうけました。小池議員は「問題だらけの医療介護総合法案の参議院での審議が6月2日から開始される。衆議院での審議や公聴会などを通じて、問題点が多く出され、全野党は反対の態度で一致している。会期末まであと3週間となり、これからが正念場だ」と発言(写真左上)。また小池議員は、「6月16日中央公聴会(民医連の山田副会長が意見陳述予定)、17日委員会での総括審議・採決との情報も流れている。すべての参議院議員への働きかけを強めて欲しい」と激励しました。

緊急院内集會では、民医連事務局の金井さんが、この間の長野県民医連のとりのくみ(500通を超える職員等の一言メッセージ運動、生保患者の生活実態調査活動~明日記者会見予定、子ども・障がい者の医療費窓口無料化を求める活動)を報告しました。(右側の写真)



県知事選挙近し (7/24告示, 8/10投票) 社保協の政策チラシを活用し、網の目学習会を

8月の県知事選挙。自公民など「オール与党」が推す阿部県知事が県民が主人公の県政めざす「県民の会」の野口予定候補か。対決軸が明確となり、話題も多くなってきました。福祉医療の窓口無料化実現を迫っていく絶好の機会です。新チラシも活用し、学習会を開催しよう。